



一般社団法人 日本リーダーシップ学会

日本リーダーシップ学会のロゴ

リーダーシップ教育 90年代には多くの大学院大学などが取り組む。一方、企業は、過去の知見に基づく独自のプログラムによって経営幹部などを養成してきた。研究・教育に携わる教員と企業の人材担当者との交流もあり進んでいない。こうした現状を踏ま

院大や早稲田大学、国

10年前から経営学部で教えているほか、工学

日本では立教大学が

生が副専攻でリーダー

攻を問わず、多くの学

入された。現在は主専

学に正課科目として導

は米国が先行し、19

組織のリーダー育成を目指す日本初の学会「日本リーダーシップ学会(JLA)」(事務局 東京都千代田区、03・3293・5113)が発足した。会長は、元工学院大学学長でFIITUT研究所(東京都八王子市)の水野明哲会長。大学と産業界が連携しながら学問として体系化する。リーダーシップ教育は欧米では浸透しているが、日本での取り組みはわずかで指導できる教員も少ない。教育に反映するとともに企業の人材育成にも役立てる。

リーダーシップ学会発足

議論や検証 教育で人材育成

え、日本リーダーシップ学会は、リーダーシ

ップを科学的に解明し、議論や検証を行うためのオープンな場として16年度から本格的な活動を始める。水野会長は「リーダーシップはトップだけでなく組織のあらゆる階層に必要。個人の能力や資質によらず、教育によ

だ」と強調する。東京・神田小川町に本部を置き、研究会の開催や学会誌の発行などを手がける。分野横断的な学会として、会員は企業の役員や人事担当者、大学の研究者、コンサルティング機関などを想定。米国の拠点とする国際リー

ダーシップ学会を模範に、連携も模索する。早大の日向野幹也教授、工学院大の新井敏夫教授が副会長に就任。立教大の石川淳教授、元スターバックスコーヒージャパン最高経営責任者(CEO)の岩田松雄氏らが理事に名を連ねる。